

子どもの権利を 守るために

国際NGOの支援現場から考える



終わりが見えないウクライナ危機のなか、生きる権利を日々脅かされている子どもたち。
11/20世界こどもの日を前に、実践的な活動を行う人道支援の現場から生の声を聞く。



ルーマニア国境でセーブ・ザ・チルドレンが届けたおもちゃを受け取るウクライナの子どもたち
©Mihaela Oprisan / Save The Children

講師

● 鈴村彩乃氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
海外事業部長

OECD日本政府代表部、国際協力銀行にてODA業務に携わったのち、2008年セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン入局。ネパール、ブルキナファソに駐在し、2013年からは東京本部にてアフリカ・中東地域の開発および緊急人道支援を統括。2014-19年までUNICEF本部に勤務し、イノベーションチームにて社会課題へのテクノロジーの活用に関する戦略策定を行ったほか、緊急事業部にて人道政策専門官として難民支援に従事。2021年4月よりセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに再入局し、現職。開発学修士。

● 日下部 尚徳氏

立教大学
異文化コミュニケーション学部准教授

東京外国語大学准教授を経て2020年4月より現職。専門はバングラデシュをフィールドとした国際協力論で、児童労働、災害、難民などをテーマに調査・研究を行う。高校生の時に認定NPO法人シャブラニール=市民による海外協力の会のスタディツアーで初めてバングラデシュを訪れ、その後2012年から16年にかけて同会理事を務める。主な著作は、『アジアからみるコロナと世界我々は分断されたのか』（編著、毎日新聞出版、2022年）、『わたし8歳、職業、家事使用人。世界の児童労働者1億5200万人の1人』（単著、合同出版、2018年）他。

2022

日時： **11/16** 水
17:30~19:00

参加
無料

場所：立教大学 池袋キャンパス **MAP**

マキムホールM202教室
& Zoomによるオンライン配信

対象：本学学生、教職員、一般

主催：立教大学グローバル教育センター

公益社団法人 セーブザチルドレン・ジャパン

オンライン参加希望者
および学外者は
事前申込が必要です

申込は応募フォームから



立教大学
セーブ・ザ・チルドレン

立教大学グローバル教育センター
email: cghrd-info@rikkyo.ac.jp
HP: <https://ghrd.rikkyo.ac.jp>



RIKKYOGLOBALCENTER